

岡山いきいき子ども・^{わかもの}若者^{かしょう}フラン2025(仮称) に対する子ども・^{わかもの}若者からの意見のまとめ

意見募集期間：令和6年11月27日（水）～令和6年12月26日（木）

主な対象：県内全小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の児童生徒

意見募集方法：岡山県電子申請サービス（オンラインフォーム）

なんと、合計**6, 767人**もの方から回答をいただきました！
ご協力ありがとうございました。



^{たいさく}岡山県の少子化対策のPRキャラクターです。昨年度、小学生のみなさんに元になる絵を募集して生まれました。
^{ほしゅう}

今回^{じっし}実施した意見^{ぼしゅう}募集について

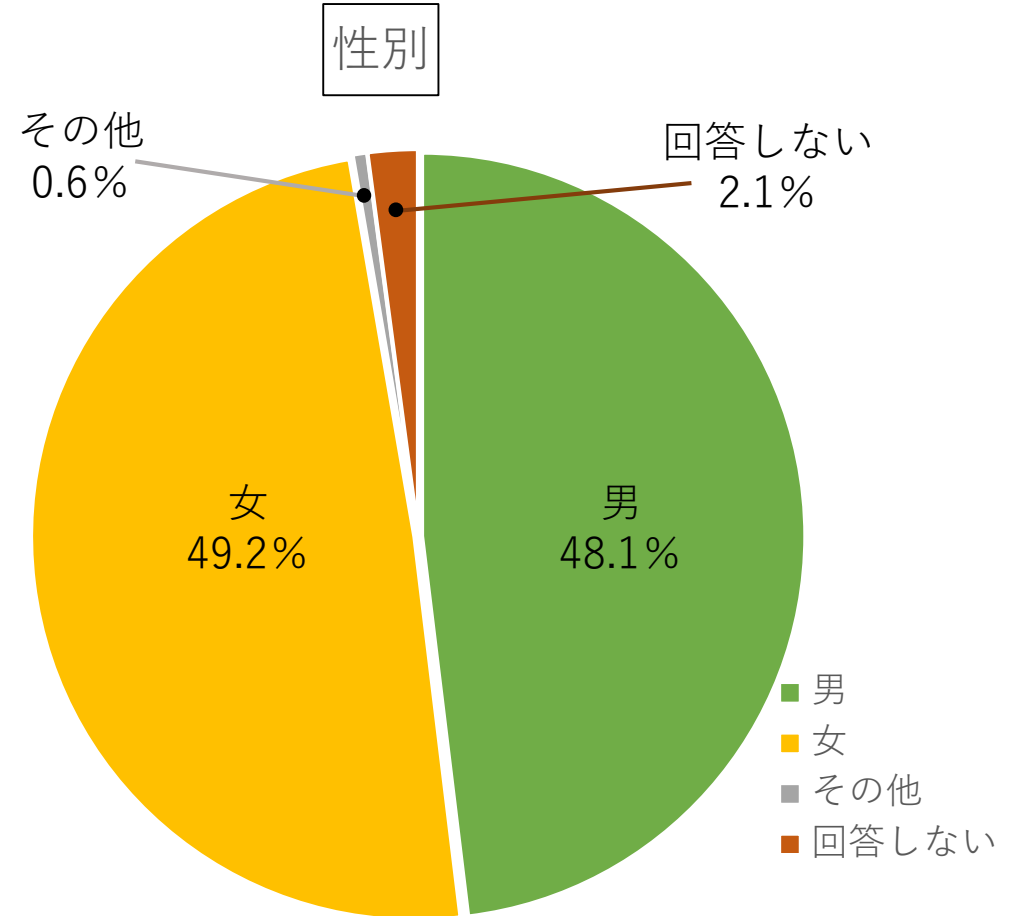
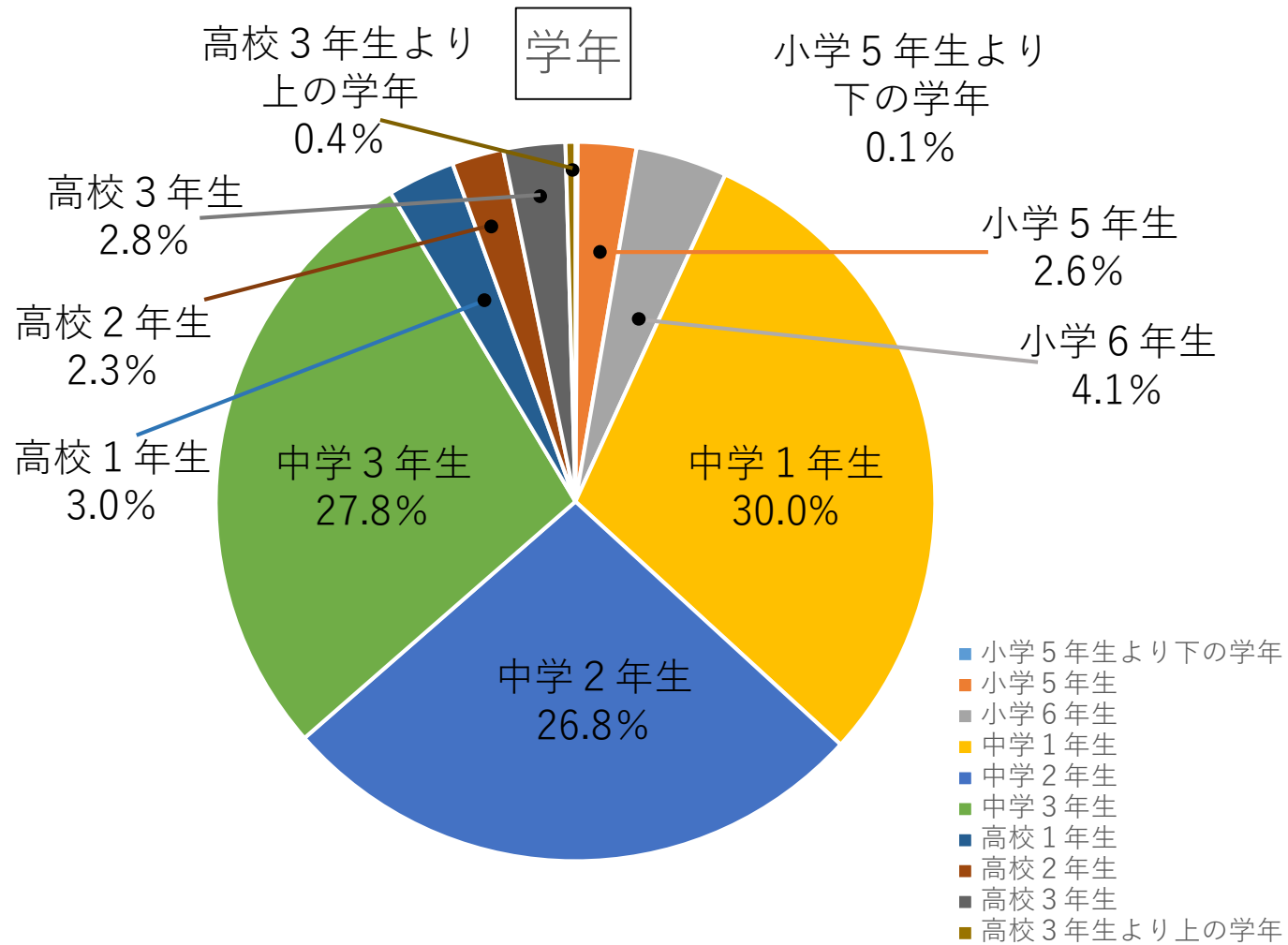
今回は、「岡山いきいき子ども・若者プラン2025」（素案）の「やさしい版」の資料を読んで、意見を送ってもらいました。 ※回答は任意

意見募集項目

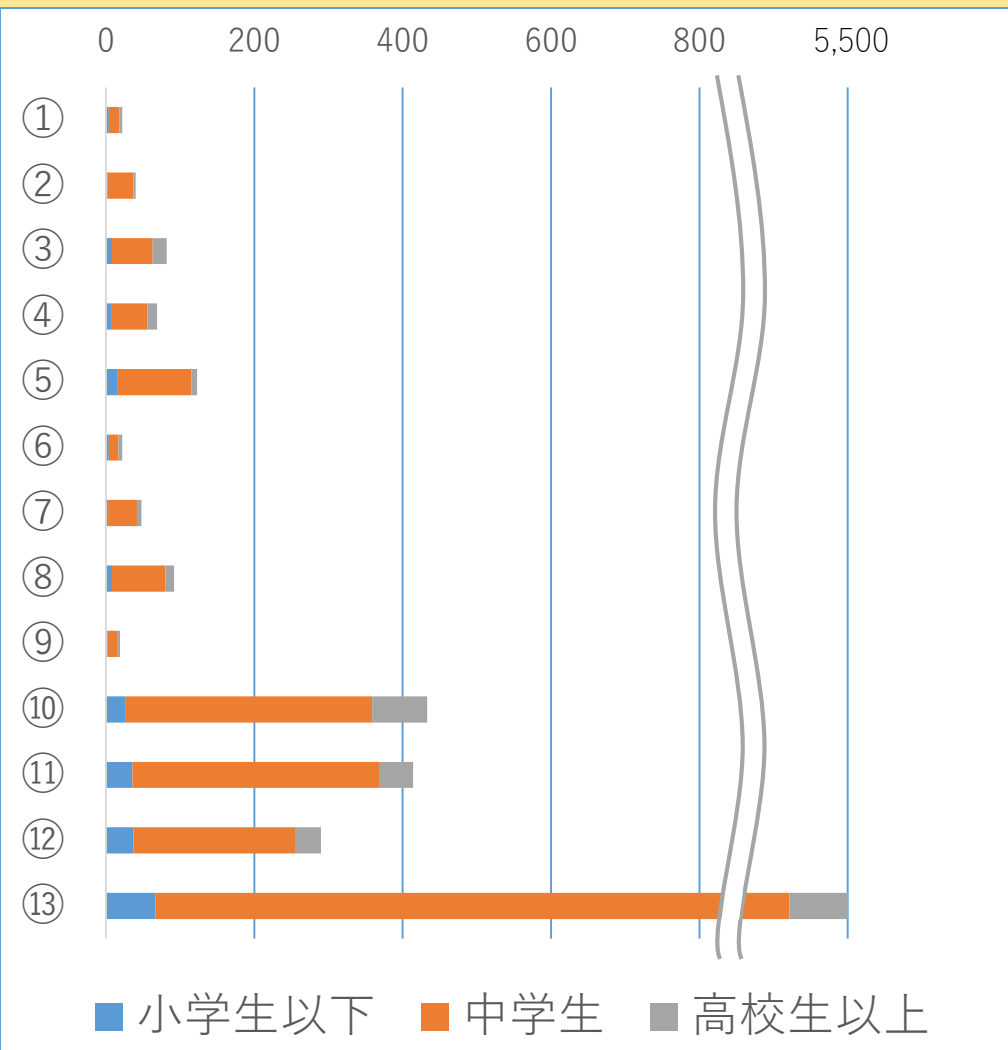
- ①あなたは今、何か困っていることがありますか。それは何ですか。
- ②あなたが元気に成長するために、今どのような環境が必要ですか。
- ③あなたが安全・安心に暮らすため、必要だと思うことは何ですか。
- ④あなたが大人に意見を伝えたいとき、どのような方法が伝えやすいですか。
- ⑤子育て中の人をみんなで応援するには、何が特に重要だと思いますか。
- ⑥どんなことがあると、結婚や子育てについて考えやすいと思いますか。
- ⑦資料を読んで、思ったことや気づいたことを教えてください。

- ・ ①～⑥は選択式で、答えの項目はいくつでも選択可能
- ・ ⑦は記述式

回答してくれた方について



①あなたは今、何かこま困っていることがありますか。 それは何ですか。



- ① 親がいない、または親と一緒に生活していないこと
- ② 大人から暴力を受けていること
- ③ 障害があること
- ④ 自宅から出ることがなく、社会との関わりが少ないこと
- ⑤ いじめがあること
- ⑥ 不登校であること
- ⑦ 日本語がわからないこと
- ⑧ 自身の性別のこと
- ⑨ 家族の介護やお世話を日頃からしていること
- ⑩ お金のこと
- ⑪ 困っていることを伝えられないこと
- ⑫ その他
- ⑬ 特にない

多くの人が困っていることは「特にない」と答えていますが、県では様々な困りごとについての相談窓口があります。資料の最後の一覧があるので、困ったことがあれば気軽に相談してください。

①困っていること

その他の意見について（主なもの）

※290件中

生活環境

- ・外で自由に遊べる公園がない。（小学生）
- ・落ち着いて過ごせる環境がない。（中学生）
- ・歩きスマホやながらスマホなど、一部の人のモラルがない。（中学生）
- ・バスの本数が減り、通学困難になった。（高校生）

学校教育

- ・学校の荷物が多く、重い。（小学生）
- ・学校に不良が多く、安心して勉強ができない。（中学生）
- ・校則が厳しい。（中学生）
- ・学校の体育館が暑い。（中学生）

人間関係（家族、友人）

★反映

- ・友達関係がうまくいかない。（中学生）
- ・親との関係がうまくいかない。これからも、このような気軽に相談できる機会が欲しい。（中学生）
- ・やりたいこと、好きなことを親に素直に言えない。（中学生）

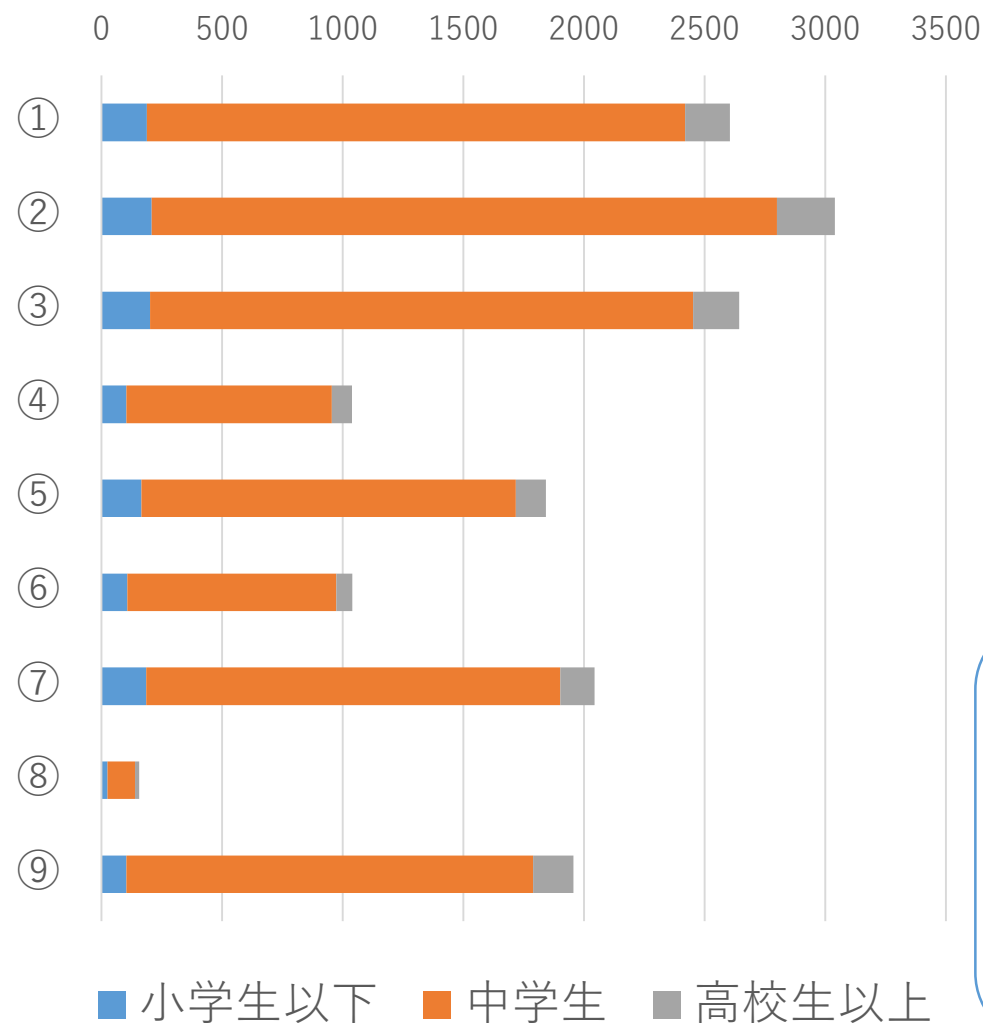
その他

- ・アレルギーに対する理解が得られないことがある。（中学生）
- ・ゲーム依存症から抜け出せない。（中学生）



★人間関係の悩みや不安の声が多かったため、「2 子ども・若者の自己形成への支援」（素案p.62）に書いている重点施策（力を入れる取組）に、「（2）子ども・若者一人ひとりの悩みや不安に応じた支援」を加えます。

②あなたが元気に成長するために、 今どのような環境が必要ですか。



① 安心して学習に取り組める環境

② やりたいことを見つけ、チャレンジできる環境

③ 安全・安心な居場所がある環境

④ 地域の人など、様々な年代の人と関われる環境

⑤ 自然体験や文化・スポーツ体験ができる環境

⑥ 地域の大人が子ども・若者を見守る環境

⑦ 大人と同様、ひとりの人間としての人権が大切にされる環境

⑧ その他

⑨ 特に必要ない

回答の多かった「①安心して学習に取り組める環境」は新しいプランの「Ⅲ 1 (1)学校教育の推進」に、「②やりたいことを見つけ、チャレンジできる環境」は「Ⅲ 3 (1)夢を育む教育の推進やチャレンジ精神の育成」に、「③安全・安心な居場所がある環境」は「Ⅲ 4 子ども・若者の居場所づくり」に、県の取組を書いています。
それぞれの取組を進め、皆さんの成長を応援します。

その他の意見について（主なもの）

※156件中

居場所づくり

- ・気軽に大人たちに相談できる環境。（中学生）
- ・自分の気持ちを抱え込まないようにできる場所。（中学生）
- ・図書館や公園など公共の場所がある環境。（中学生）

安全・安心な生活環境づくり

- ・交通ルールが守られている環境。（小学生）
- ・道がガタガタせず整備されている環境。（高校生）

障害や困難な状況にある子ども・若者の支援

- ・障害がある人が暮らしやすいようにサポートがあったり、誰でも働ける環境。（小学生）

学校教育

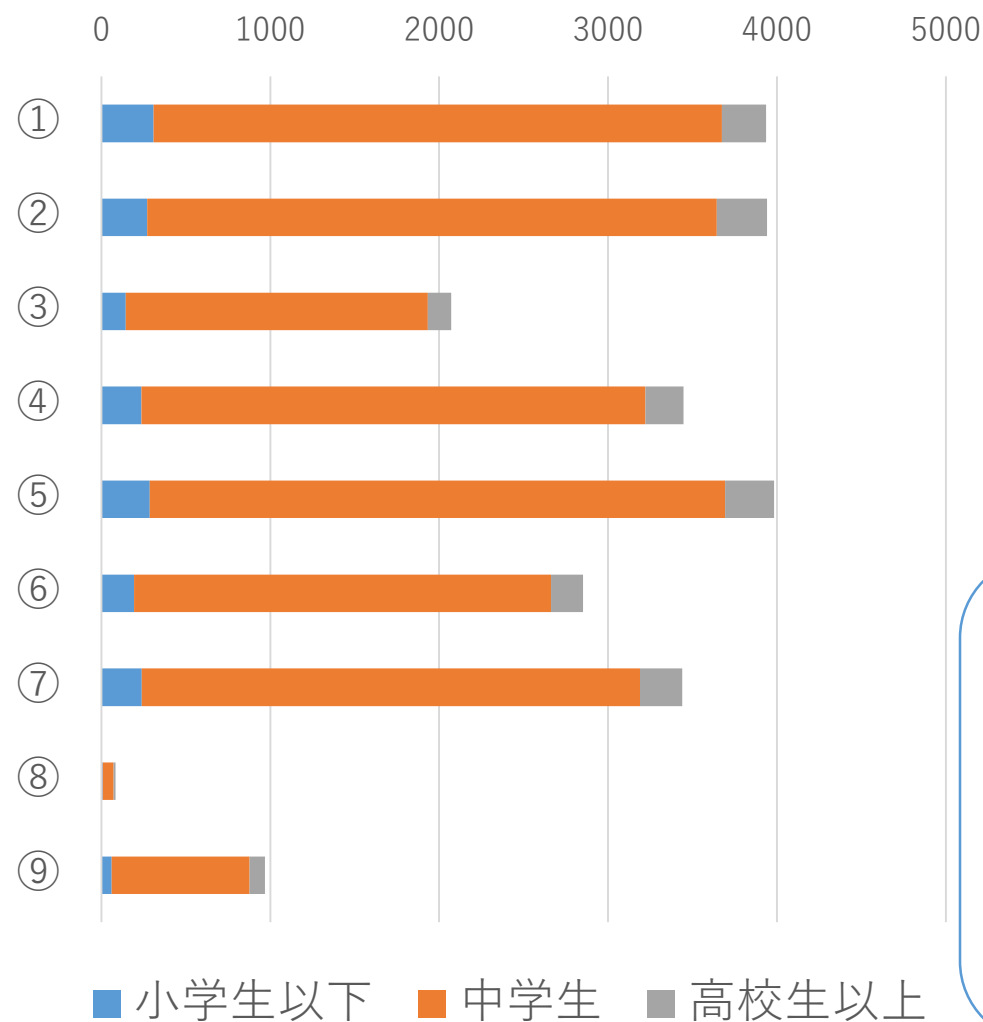
- ・先生が生徒の夢を応援する環境。（中学生）
- ・自分のペースで物事を進められる環境。人と協力できる環境。（中学生）
- ・進学する高校を市内外の隔たりなく、自由に選べる環境。（中学生）

その他

- ・大人がルールや決まりをつくって、子どもに従わせるのではなく、子どもも意見が言えて、一緒によい環境になるように考えられる環境。（小学生）
- ・考え方が違う人と触れ合う環境。（小学生）



③あなたが安全・安心に暮らすため、 必要だと思うことは何ですか。



① 安心して遊ぶことができる場所があること

② 交通の安全が確保されていること

③ 食に関して正しい知識があること

④ 安全なインターネットの使い方を知っていること

⑤ 不審者などからの防犯対策がなされていること

⑥ 薬物の乱用など、してはいけないことを理解していること

⑦ 防災に対して日頃から意識すること

⑧ その他

⑨ 特に必要ない

回答の多かった「②交通安全」や「⑤防犯」は、防犯カメラ等の活用や、通学路の安全点検、見守り活動を進めるなど、安全で安心な環境づくりに取り組むことをプランに書いています。

また、「①安心して遊ぶことができる場所」は、都市公園等の計画的な整備や管理、児童館のネットワークづくりに努めることなどを書いています。

皆さんが安全に、安心して暮らせる環境づくりのため、様々な取組を進めます。

③安全・安心に暮らすため必要だと思うこと

その他の意見について（主なもの）

※84件中

生活環境

- ・ 大人が助けてくれること。（小学生）
- ・ 川や道路に散らかっているゴミがなくなること。ポイ捨てがなくなること。（中学生）
- ・ 子どもがのびのびと遊べる公園があること。（高校生）

学校教育

- ・ 思いやりの心を育成すること。（高校生）
- ・ 性教育（高校生）

多様な背景を持つ子ども・若者の支援

- ・ 自分の性別について、理解してくれる環境があること。（中学生）



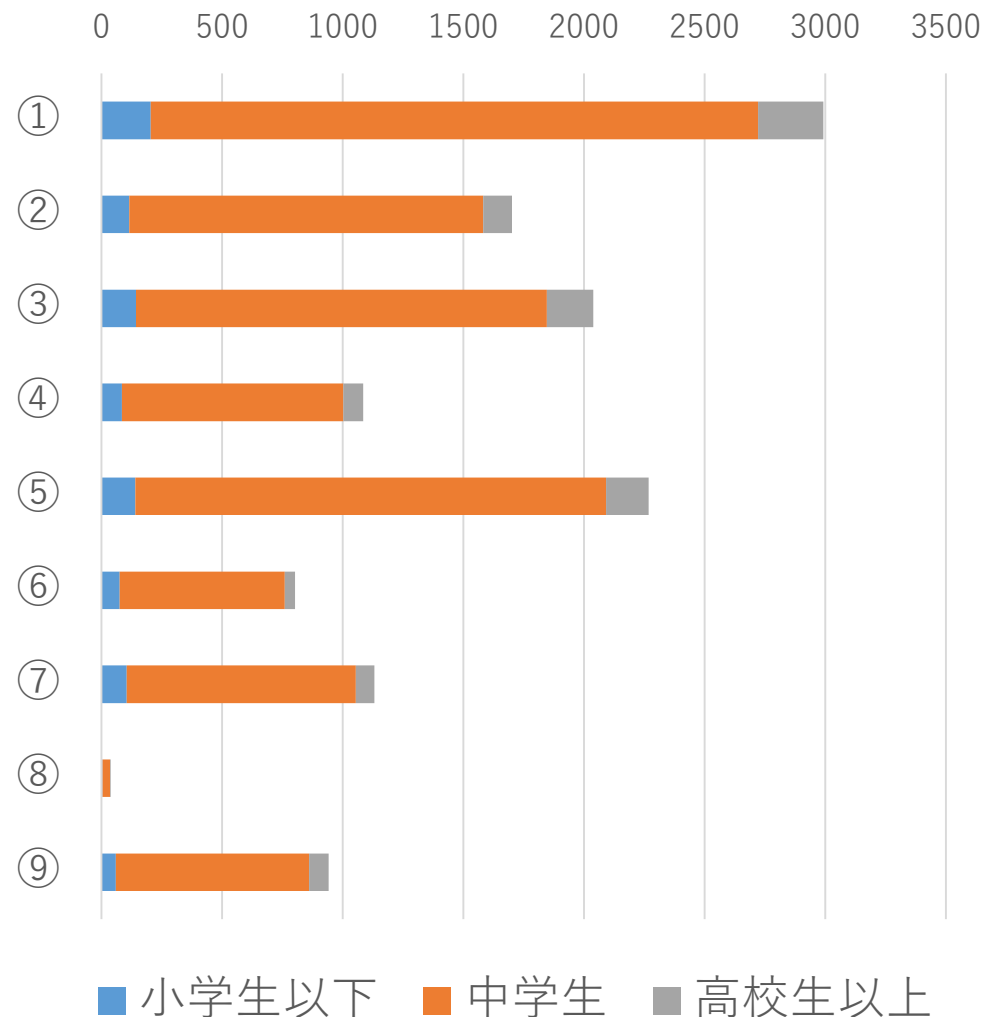
居場所

- ・ 相談する場所があること。気持ちの整理がしやすい場所があること。（小学生）
- ・ 絶対に秘密を守ってくれる、相談できる大人が近くにいること。（中学生）
- ・ 無料で自習できる場所があること。（高校生）

医療

- ・ 感染症の予防に関する情報を得たり、悩みを安心して打ち明けられる場所や機会があること。（高校生）

④あなたが大人に意見を伝えたいとき、 どのような方法が伝えやすいですか。



① 対面（直接会う）

② アンケート（紙）

③ アンケート（オンライン）

④ メール

⑤ SNS（LINEなど）

⑥ 手紙

⑦ 電話

⑧ その他

⑨ 特に必要ない

「①対面」「⑤SNS」「③アンケート（オンライン）」「②アンケート（紙）」の順に多い結果となりました。

今回は、新しい子ども・若者のプランについて、アンケート（オンライン）で意見を募集しましたが、今後は、プラン以外にも、子ども・若者に関係することがらについて、皆さんから意見を聴くこととしています。

今回のアンケート結果も参考にして、皆さんが伝えやすい方法で意見を聴いていきたいと考えています。

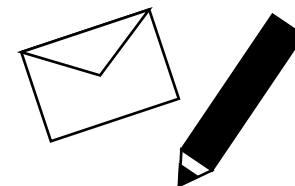
その他の意見について

※38件中



匿名で（誰かわからないように）意見を伝えたい！

- ・個人を特定できるような情報を書かずに行うアンケート（中学生）
- ・匿名のチャット相談（中学生）

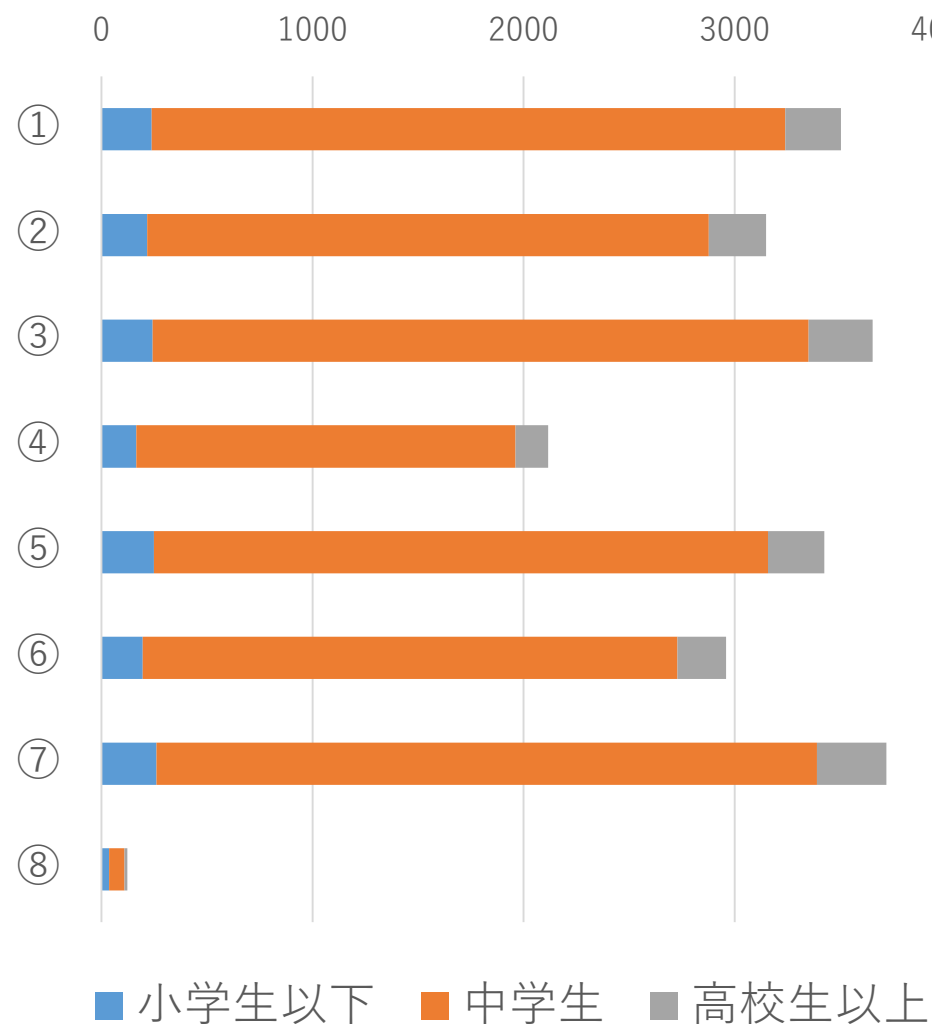


二人きりで伝えたい！ / みんなで伝えたい！

- ・対面でも紙でも一対一の方が話しやすい。（中学生）
- ・仲間と一緒に言う。（中学生）



⑤子育て中の人をみんなで^{おうえん}応援するには、 何が特に重要だと思いますか。



- ①みんなで応援しようという雰囲気をつくったり、呼びかけること
- ②お店などで子育て中の人にサービス（料金割引、プレゼントなど）をすること
- ③建物や設備を子育てに使いやすき、不便でないものにすること
- ④子育てを応援する活動をしている様々な団体が協力し合うこと
- ⑤子育てをしている人が気軽に集まって話をしたり、相談できる場を作ること
- ⑥子育てをしている人が、子育てについて知りたい知識を学べること
- ⑦子どもを育てるときにかかる費用を減らすこと
- ⑧その他

多くの人を選んでくれた項目について、県も重要なことだと考えています。新しいプランでも、子育てにやさしい社会づくりや子育て中の親子が気軽に集まったり相談したりできる場所づくり、子どもを育てるときにかかる費用を減らすことなどに取り組み、子どもを育てている人をみんなで応援します。

⑤子育て中の人をみんなで応援するため、重要だと思うこと

その他の意見について（主なもの）

※123件中

子育てにやさしい地域社会づくり

- ・子どもから大人までの全員が子育てについて理解すること。（中学生）
- ・子育て＝迷惑がかかるものという偏見をなくすこと。（中学生）
- ・未成年妊娠でも差別されない、1人の妊婦さんとして周りから見てもらえること。（高校生）

子育てと仕事が両立できる環境の整備

- ・女性が積み上げてきたキャリアをなくさないために、子育てする人を支援する方法を考えることが大事だと思う。（中学生）



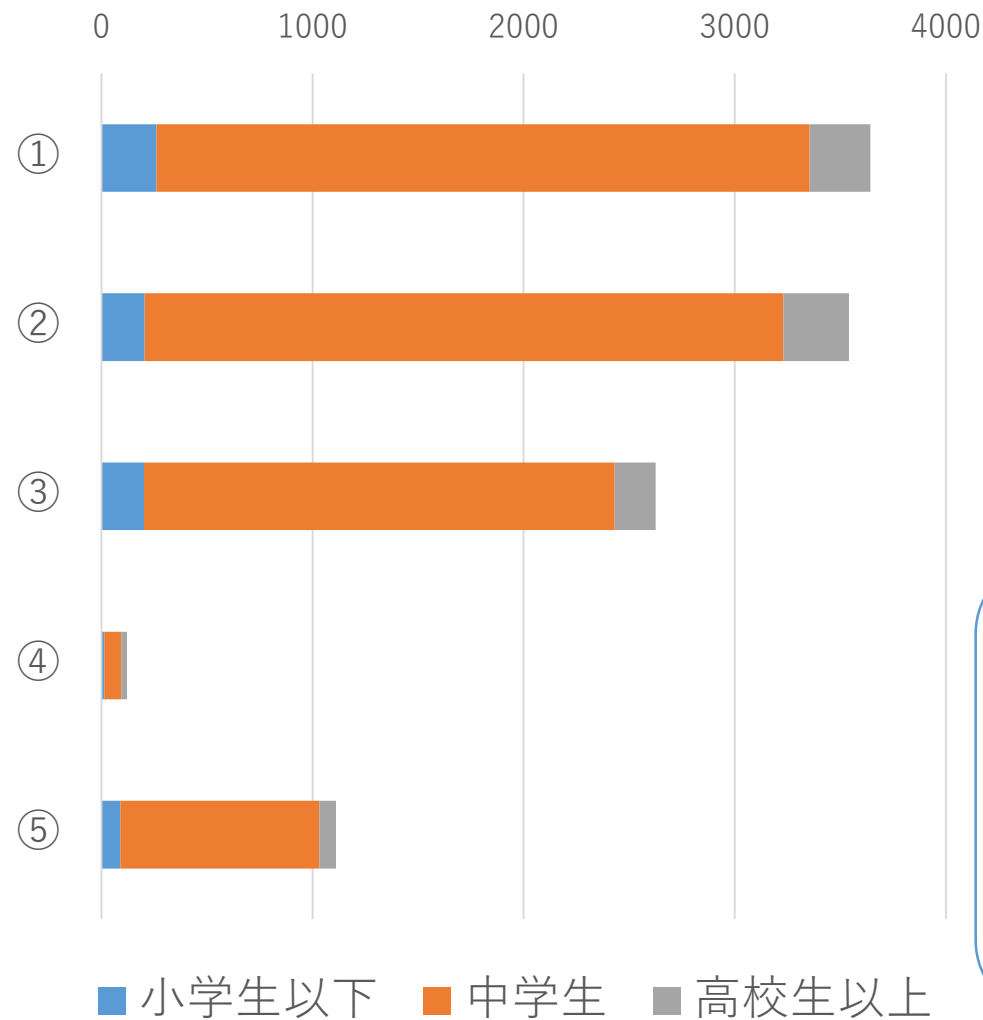
子育て支援

- ・お母さんが、6年生になったら学童に預けられなくなると言って困っていたので、6年生まではどの子どもも利用できるようにしてほしい。（小学生）

その他

- ・子育てを経験した人の意見を聴くこと。（中学生）
- ・少子化対策についてちゃんと意見を述べる場をつくること。（中学生）
- ・子育てをすることへのやる気を維持できるようにしたり、負担を減らしたりすること。（高校生）

⑥ どんないいことがあると、結婚や子育てについて考えやすいと思いますか。



- ①赤ちゃんのお世話をしたり一緒に遊んだりする経験
- ②仕事や結婚、子育てなどについて考えてみる機会
- ③健康づくりの大切さや、年齢と子どもの産みやすさの
関係などの知識を得る機会
- ④その他
- ⑤特に必要ない

回答してくれた人の半数以上が、「①赤ちゃんのお世話をしたり一緒に遊んだりする経験」「②仕事や結婚、子育てなどについて考える機会」を選んでいました。新しいプランに書いている、赤ちゃんや小さい子どもとふれあう体験や、結婚等について考えるきっかけとなる情報の提供などに取り組みながら、皆さんが自分の将来について考える手助けをしていきたいと考えています。

⑥結婚や子育てについて考えるために必要なこと

その他の意見について（主なもの）

※121件中

知る機会

- ・子どもについて学ぶ機会（中学生）
- ・学校の授業や地域活動で体験会を開く。（中学生）
- ・企業が、子育てできる環境が整備されているということを示すこと。（中学生）
- ・子育て中に使える制度などを知ることができる機会（高校生）

出合いや交流の機会

- ・人と会う場所をもっといっぱいつくると良いと思う。（小学生）
- ・知り合う機会をつくること。（中学生）

子育てにやさしい地域づくり

- ・周りの人の、子育て中の人に対する考えを良くする。（中学生）

経済的支援

- ・子育てや結婚の補助金（中学生）
- ・教育費や医療費などの支援が充実していること。（中学生）
- ・妊娠から子どもが大学に行くまでのお金の心配がないこと。（高校生）

出産・子育てがしやすい環境の整備

- ・地域で一丸となって子どもを育てる体制を整えること。（小学生）
- ・性別関係なくお互いを尊重しあうこと。男女の収入の差をなくすこと。育休を増やすこと。（中学生）



⑦「やさしい^{ばん}版」の^{しりょう}資料を読んで、 思ったことや気づいたことを教えてください。

合計3, 252件の意見がありました！
みなさんが送ってくれた意見をすべて読み、大きく3つに分けました。それぞれ主な意見を紹介します。

- (1) プランをよりよくするための提案や要望
- (2) プランへの感想
- (3) 質問、気になったこと

※この資料では主な意見を紹介していますが、「県からの回答」資料（仮称）では、より多くの意見を紹介する予定です。

(1) フランをよりよくするための^{ていあん}提案や要望

I 結婚、妊娠・出産の希望がかなう環境の整備

結婚等について考えるきっかけとなる情報や機会の提供

- ・実際に子育てや出産を経験した人に大変だったことや、もっとこうすればいいなどの意見を聞いてみたら良いと思う。(小学生)
- ・結婚や妊娠したときの知識を学ぶ場所などをつくるのがいいと思う。(中学生)

県の回答

「(2) 若者の結婚への関心の後押し」(素案p. 47)で、結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフイベントを自分の意思で選べるように、様々な情報や機会を提供することを書いています。

II 乳幼児期における教育・保育の充実

地域ぐるみの子育て支援

- ・みんなが暮らしやすい生活を過ごすには地域全体で協力したりそういう環境を作っていくことが大切だと思った。子育てなどがしやすい環境をつくったり子どもにも暮らしやすい優しい雰囲気をつくっていくといいなとも思った。(中学生)
- ・子どもができると、多くの費用がかかることや育児に疲れてしまうこともあると思う。育児に悩んでいる人の支えをしてもらえる団体があると、負担を少しでもなくすることができるのではないかと考えた。(高校生)

「(1) 子育て支援ネットワークの充実」や「(2) ふれあいの拠点づくり」(素案p. 57)で、子育て支援ができる体制づくりを進めるとともに、子育て中の親子が地域全体で交流し、子育ての不安・悩みを相談できる場が増えるように取り組んでいくことを書いています。

経済的支援

- ・安心して子どもを産めるようにするにはもっと補助金を出してあげるほうがいいと思う。(中学生)

「(5) 経済的支援の推進」(素案p. 58)で、児童手当(子どもを育てている人が一律で受け取れるお金)や保育料を無料にすることなどにより、子育ての経済的な負担感が減るよう取り組むことを書いています。

(1) フランをよりよくするための^{ていあん}提案、要望

Ⅲ 子ども・若者の成長を支援する環境の充実

居場所づくり

- ・みんなで宿題をする場や、遊ぶ場をつくるのが大切だと思った。(中学生)

地域・世代間交流

- ・他の年代の人々と交流する機会を多く作ってほしい。(中学生)
- ・老若男女を問わず様々な立場にいる人が関わりを持つことができる場所があれば地域との密接な関わりが持てると思う。(中学生)

県の回答

→ 「4 子ども・若者の居場所づくり」(素案p.65)で、様々な人たちと協力しながら居場所づくりを進めていくことを書いています。

→ 「(1) 地域・世代間交流の促進」(素案p.66)で、地域と学校とが協力し、子どもや高齢の人、障害のある人など、様々な人との交流の機会を提供することを書いています。

Ⅳ きめ細かなサポートが必要な子ども・若者や家庭への支援

困難な状況にある子ども・若者への支援

- ・虐待やいじめを受けている子どもが助けを求めやすい世の中になればいいなと思った。(中学生)
- ・子どもがいじめや虐待を受けている場合、そういうことを気軽に相談できる場所をつくったらいと思った。(中学生)

→ 「(2) すべての子どもが安心して暮らせる環境づくり」(素案p.71)で、子どもは権利の主体であり、子どもがSOSを発信できる雰囲気づくりを進めていくこととしています。また、「④子ども・若者一人ひとりの悩みに応じた支援」(素案p.76)で、岡山県青少年総合相談センターでの相談支援について書いています。

ひとり親家庭への支援

- ・私自身もひとり親家庭で普通の人より困っていることも多いし、生まれた境遇で将来のことで不安だから少しでもそういう人達のための支援をしてほしい。(中学生)

→ 「4 ひとり親家庭の自立支援」(素案p.78)で、子育て・生活支援の強化や、経済的自立の支援、相談などの支援について書いています。また、「5 子どもの貧困対策の推進」(素案p.79)で、子どもの現在や将来が、生まれ育った環境によって左右されないよう子どもの貧困対策を広く進めていくことを書いています。¹⁸

(1) フランをよりよくするための^{ていあん}提案、要望

V ワーク・ライフ・バランスと子育てにやさしい環境づくりの推進

子育てと仕事の両立

- ・子育てをするのに対して母親や父親片方だけに家事育児の負担が傾かないようにすることが大切だと思った。(中学生)

安全・安心な生活環境

- ・インターネットを使用するときにフィルタリングなどのサービスを使用することは効果的だと思うけど、学校に配布されているPC(タブレット)などのように広くフィルタリングをしてしまうと自分自身でそのサイトが安全なのか危険なのかを判断する力が身につかないと思う。(中学生)

県の回答

「(3) 男女がともに協力して子育てする意識の醸成」(素案p. 85)で、男女がともに協力して家事や育児をする意識を育てていくこととしています。

「(エ) スマートフォン・インターネット対策の推進」(素案p. 89)で、フィルタリング機能の活用は重要であることから、その取組を進めていく方向で書いています。インターネットの安全な使い方が身につくように、学校での情報モラル教育などを行っています。

VI 子ども・若者の社会参画の促進と意見の反映

子ども・若者の意見表明

方法について

- ・将来の岡山県のために、子どもの頃から意見をアンケートなどで答える機会があると岡山県がより良くなると思う。(小学生)
- ・子どもへ意見を聴くなら中高各校から代表を募り代表が各校の意見をまとめ、意見交換等すれば良いのではと思う。(中学生)

意見の反映について★**反映**

- ・意見を聞くだけでなく、大人の人が子どもの意見を実現してほしいです。(小学生)
- ・なかなか人が意見を言ってもその意見が通らないことが多いからそこも改善すべきだと思った。(中学生)

「(3) 子ども・若者の意見表明の機会の充実と反映」(素案p. 92)で、様々な方法で、子ども・若者が安心して意見を言う場や機会を作ることとしています。いただいた意見は、今後の取組の参考にしたいと思います。

子ども・若者の意見を県取組へ反映するために、しっかりと話し合うことをプランに書くことにします。

ここが大事！

(2) フランに対する感想

ここが
良かった！

- ・老若男女誰もが自分に関係ないことだと思わずに自分ごとに捉え、子ども・若者が成長しやすい環境づくりを協力して行うことが大切。(中学生)
- ・普段からあまり考えないことばかりだけど、安心して生活できるようにするためには、地域の人との関わりや、そこにある施設なども大事だなと思った。(中学生)
- ・環境を作ることも大切だけれども、人の意識や認識を一人一人改めないことには意味がないと思う。(中学生)
- ・子どもや結婚のことについてここまで考えたことはなかったけど、仕事や生活のバランスが崩れるという事は知っていたので、どうすべきかを個人で考えるよりも様々な人で考えるということが大事だと思った。(中学生)
- ・私も、子育てとかは大事な事だと思っているので、これからこの取組がもっと広がっていったらいいなと思いました。(中学生)
- ・悩みを自分だけで抱えないようにしているのが良い。(小学生)
- ・出会いがないという人でも結婚することができるし、子育てに自信がなくても他の人に相談できる場所があるということはとてもいいと思った。大人が理想を押し付けるんじゃなくて、子どもが自分のやりたいことをやれるのがいいと思った。(中学生)
- ・若者にとっても親身なプランだと思った。このようなプランがあると、将来のことを少し前向きに考えられる。(中学生)
- ・岡山県は、色々な環境にいる人たちを支える活動をしているから、安心できる。(中学生)
- ・大人だけでなく、子どもの意見も聞いてくれようとしているのが嬉しい。(中学生)
- ・結婚したい人ができる環境をつくることで子どもが増え、少子化を防止することにつながると思った。(中学生)

今後に
活かしたい！

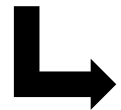
(2) フランに対する感想

「やさしい版」
について

- ・ 少子化などの問題は自分にも無関係なことではないので真剣に考えていかなければならないと思った。また、自分ができることを考えながら過ごすのも大切だなと考えた。(中学生)
- ・ 妊婦さんのことや子育てをしている人たちなどのことを考えてくれているのがとても嬉しかったし、自分もなにかできることはないか考えることができたので、素晴らしいなと思った。(中学生)
- ・ 住みやすい社会にするには、必要なものを増やしたり改善したりする必要があると思ったから、自分の意見をしっかり伝えようと思った。(中学生)
- ・ 地域のためにも自分たちのためにもいろいろなことを協力しながらやっていくことが大切なんだと思い、周りのことを考えるようになるきっかけになったと思った。(中学生)
- ・ 安心して暮らせるように、自分でもできることがないか探そうと思った。(高校生)
- ・ してほしいことがほとんど書いていてよかった。(小学生)
- ・ 漢字が読めない人にも配慮されていて優しい。(中学生)
- ・ 具体的にどのようにサポートしてくれる人を育成したりどのように今の設備を変えていったりするのかを更に知りたいと思った。(中学生)
- ・ 子どもや若者が理解しやすく意見を出しやすい工夫がされていて素敵だと思った。難しい言葉がないので「自分にも関係ある」と思えるし、読むのが楽しくなる。特に、自分たちの暮らしやすい未来を考えるきっかけになる内容が多く、「意見を伝えていいんだ」と感じられた。(高校生)
- ・ プランを作る上での大事なメリットや大事なことを強く訴えていた。(高校生)
- ・ スライドあたりの文字数が多くて読みづらい。(大抵の人はスマホで見るので余計に)動画だともっと見やすい。(高校生)

(3) ^{しつもん}質問、気になったこと

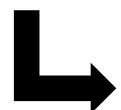
Q. 結婚したい、子どもがほしいという願いが叶う環境を整えるの部分できっかけを作るとあるが、具体的な方法や機会がよくわからない。また教育や保育の充実とあるが「子どもたちにとってよりよいもの」とはどんなものか、何がしたいのかを明確にしてほしいと思った。(中学生)



A. 「(1) 多様な出会いの機会の提供」(素案p.48)に書いているように、結婚支援システム「おかやま縁むすびネット」を活用した1対1の出会いや婚活イベントにより、様々な出会いの機会を提供します。

また、例えば「(5) 就学前教育の質の向上」(素案p.53)に書いているように、人格形成の土台となる小学校入学前の教育の質を一律に向上させ、子どもの生活習慣等をしっかりと身に付けたり、学びに向かう力(学びを人生や社会に生かそうとする力)を育てたりして、小学校に入ってから学習や学校生活にスムーズになじめるようにするための取組を進めます。

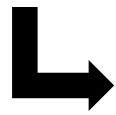
Q. 若者や子育て世代の支援はとても大事なことだと思うのでとてもいいプランだと思った。小学校に入学する前の教育や保育を充実させます。のところで保育園の先生を増やすと書いていたが、具体的にどのような方法を使って増やすのかが気になる。(中学生)



A. 「(4) 保育人材の確保・定着と職場環境の改善」(素案p.53)に書いているように、「県保育士・保育所支援センター」が中心となって、資格を持っていても保育士として働いていない人が、保育士として再就職できるよう一人ひとりに合わせた支援を行うなどの取組により、保育園の先生を確保し、また働き続けてもらうためのきめ細かな取組を進めます。

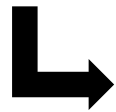
(3) ^{しつもん}質問、気になったこと

Q. 家庭内での男女の家事・育児の分担のための意識づくりって具体的にどんなことをするの？（中学生）



A. 「（３）男女がともに協力して子育てする意識の醸成」（素案p.85）に書いているように、性別役割分担意識を解消したり男性が育休をしっかりと取るようにするための講座等により、男性の家事や育児に対する意識や行動を変えるなどして参画を進め、男女がともに協力して家事や子育てをする意識を育てていくこととしています。

Q. 社会の一員として、子ども・若者が自分の考えや意見を言いやすい環境づくりを進める」、「子どもや若者が自分の意見を言える機会を作り、その意見を大切にするとあるが、具体的にどのように意見を伝え、反映していくのかが少し分かりにくかった。「大切にするとあっても、どのくらい一人ひとりの意見を見ってくれるのかわからないので不安。（中学生）



A. 「（３）子ども・若者の意見表明の機会の充実と反映」（素案p.92）に書いているように、子ども・若者への取組に関する会議等の委員になってもらうことや、アンケートなど、様々な方法で、子どもや若者が安心して意見を言える場や機会を作ることとしています。

また、意見については、施策への反映状況をお知らせすることとしています。

なお、今回の「岡山いきいき子ども・若者プラン2025」（仮称）に関する意見募集で送っていただいた意見については、すべて目を通しています。

最後に 相談窓口^{まどぐち}について



多くの意見をありがとうございました！みなさんの意見を踏まえ、よりよいプランをつくり、みなさんが幸せに暮らしていけるような取組を一層進めていきたいと思っています。

①の設問では、みなさんが今困っていることが何かを聞きました。みなさんが笑顔で暮らしていくため、力になりたいと思っています。もし今、相談したいけれどできていなかったり、これから困ったことが起きたりしたら、次のページに書いてある相談窓口にご相談してくださいね。

相談窓口一覧

岡山県青少年総合相談センター (ハートフルおかやま110)

・総合相談窓口

青少年に関するどんな悩みでもOK。必要に応じて適切な相談窓口やほかの相談機関を紹介します。

TEL : 086-224-7110

受付 : 8:30~21:30 年中無休 (年末年始を除く)

児童相談所虐待対応ダイヤル「^{いち はやく}189」

虐待かもと思った時、すぐに児童相談所に通告、相談ができる全国共通の電話番号です。お近くの児童相談所につながります。虐待で困っていたら「189」にかけてください。

TEL : 189

24時間子供SOSダイヤル

いじめで困ったり自分や友人の安全に不安があったりなど、子どものSOS全般について、24時間いつでも相談できます。

TEL : 0120-0-78310

岡山いのちの電話

自殺予防が第1の目的。孤独や不安で悩んでいる人に寄り添います。

TEL : 086-245-4343 (毎月10日は0120-783-556)